

議題(1) 第2回協議会の意見と対応方針について

9月2日(金)に実施した第2回協議会では、下表に示す意見及び指摘事項があった。これらの意見に対応する方針を以下に整理する。

| No. | 分類 | 主な意見・指摘事項 | 発言者 | 対応方針 |
|-----|-------------------|---|----------|---|
| 1 | 戦略の方針及び方針について | 「みんなで支える交通体系」を実現するため、事業主体まで踏み込んで戦略を検討いただきたい。(例:MM(モビリティ・マネジメント)の主体=住民組織等) | 松村副座長 | 戦略実施プログラムでは、事業主体等の関係主体を具体的に記載している。 箕面市で実施してきたMM(モビリティ・マネジメント)については、行政だけでなく市民・NPO等も主体を担ってきた。今後も行政だけでなく、多様な主体が連携を図りながら実施する。 「戦略施策 4-⑤」参照 |
| 2 | | 「みんなで支える」というメッセージ性が足りないと感じる。バス停のバリアフリー化など全体のバリアフリー化を盛り込んでほしい。 | 永田構成員 | バス停のバリアフリー化やノンステップバスの導入など、安全・安心みんなが使う交通まちづくりを戦略施策に盛り込む。 「戦略施策 1-③ 及び 4-③」参照 |
| 3 | | 箕面市の交通体系は、近隣市町との結びつきが強い。箕面市だけでなく、地域全体が良くなるように取り組んでいただきたい。 | 山本オブザーバー | 近隣市町と結びつきが強いバス路線網の再編については、近隣市町と協議する場を設け、地域全体が良くなるように広域行政を担う大阪府・周辺自治体と検討を進める。 |
| 4 | 評価指標と福祉交通のあり方について | 評価指標の整理方法、段階構成などを考えていただきたい。 | 新田座長 | 基本方針と評価指標の関係を整理する。 「④ 戦略実施プログラムの検討」参照 |
| 5 | | 高齢化への対応として、福祉交通の重要性が高まる。福祉交通の担い手として、タクシーに関する項目を評価指標に組み込んでも良いのではないか。 | 松村副座長 | 箕面市では、福祉交通として無料の福祉予約バス(ワゴン車)を運行している。福祉有償運送制度については、利用状況や利用ニーズ等を踏まえ、民間等の福祉タクシー(福祉有償運送)との役割分担・連携による総合的な移動支援を評価指標も含めて、福祉交通のあり方について、福祉施策全般の中で検討する。 |
| 6 | | 戦略実施プログラムの評価指標について、充実を図っていただきたい。特に福祉交通に関わる提案を深めていただきたい。ドア to ドア型のサービス提供を強化する指標や、それを踏まえたタクシーの位置づけも考えていただきたい。 | 新田座長 | |

| No. | 分類 | 主な意見・指摘事項 | 発言者 | 対応方針 |
|-----|------------------|--|----------|---|
| 7 | 道路空間のあり方について | 道路空間の再配分については、交通処理機能を重視するのではなく、シェアドスペースをはじめとした新しい運用方法を検討してほしい。 | 新田座長 | 周辺まちづくりとの連携により船場の再整備とあわせて、オープンカフェなどのシェアドスペースを検討する。 「戦略施策3-③」参照 |
| 8 | バス網再編の考え方について | バスネットワークの検討も含めて、理念だけでなく、戦略の描き方を詰めていく必要がある。バスネットワークについては、鉄道延伸によるインパクトを受けて、どう変えていくのかが一番大きな課題である。 | 上村構成員 | 戦略の描き方については、リーディングプランである鉄道延伸にあわせてバス路線網の再編、交通結節点整備の検討を進める。 「戦略施策1-①、1-②、3-①」参照 |
| 9 | | 新たなバスネットワークについては、民間だけで維持するのか、公的介入が必要なのか、さらにはタクシーもしくはS T Sをはじめとする福祉交通をどう補完するのかについて体系たてて検討することが近々の課題である。 | 上村構成員 | バス路線網の再編は、サービスレベルや公的関与も含め、検討を進める。 「戦略施策1-②」参照 |
| 10 | | バス路線の再編については、市民の意向や近隣市町との関係性、事業性もふまえて検討いただきたい。 | 西山構成員 | |
| 11 | その他、確認及び修正事項について | 交通基本法について、23年3月に閣議決定されているので、最新の内容を資料に反映いただきたい。 | 浪越オブザーバー | 平成23年3月の閣議決定の内容にあわせて修正する。 「② 交通特性と課題整理」参照 |
| 12 | | 2002年(平成14年)以降、バス利用者数が増加している理由をお教えいただきたい。 | 新田座長 | 平成14年度から平成17年度については、各路線で増減が見られるが、粟生団地線の増加が大きい。 平成17年度から平成22年度については、各路線で増減が見られるが、箕面森町線の開設に伴う増加が大きい。 |
| 13 | | 公共交通の情報提供については、先進的な箕面市における実施例を示して、今後より活用するという方向で示した方がよい。 | 浪越オブザーバー | オレンジゆずるバスで導入しているインターネットによる運行情報の提供と主要公共施設やバス停でのデジタルサイネージをより活用していくことを明確にする。 「戦略施策1-③、1-⑤」参照 |